

鳥取県内における看護学史・医学史を探る

早川 大輔 (Daisuke HAYAKAWA)

【背景・目的】

鳥取県は、近世以降、谷本竹野（看護師・1892 年-1972 年・第 15 回ナイチンゲール記章受章）、山崎秀子（看護師・1903 年-1962 年・第 18 回ナイチンゲール記章受章）、稲村三伯（海上随鶏）（医師・1758 年-1811 年）、橋田邦彦（医学者・1882 年-1945 年）をはじめとして、看護・医学に功績を残した全国的に著名である偉人を多数輩出している。しかし、鳥取県内には看護学史・医学史・医療史の分野に関わる研究者が少ないこともあり、本県の看護学史・医学史・医療史について十分な調査が行われているとはいえず、他の都道府県に比して未知の事項が極めて多い。

本研究は、近世から近代にかけて鳥取県における看護・医学の分野の発展に寄与した人物を発掘し、その履歴および功績等を調査するとともに、本県内で進められてきた看護・医学の歴史について調査・整理することを目的とする。

○共同研究者・協力者 矢倉 紀子（鳥取看護大学看護学部 教授）
村口 孝子（鳥取看護大学看護学部 助教）

【活動（研究）の概要】

鳥取県内の看護学史・医学史・医療史を調査・整理するにあたり、鳥取県を東部（鳥取市・岩美郡岩美町・八頭郡若桜町・智頭町・八頭町）・中部（倉吉市・東伯郡三朝町・湯梨浜町・琴浦町・北栄町）および西部（米子市・境港市・西伯郡日吉津村・大山町・南部町・伯耆町・日野郡日南町・日野町・江府町）の 3 つに区分し、それぞれの区域における調査（聞き取り調査・フィールド調査・文献調査）に着手した。特に、調査の手がかりとして、県内の医療機関に勤務経験がある高齢者等からの聞き取り調査を喫緊の課題とし、著者らの知人等を辿ることによりその聞き取り対象者を発掘することに注力した。

1) 鳥取県東部

1891（明治 24）年に開設された市立因幡病院（伊藤健蔵 創設）を前身とする鳥取県立中央病院につぎ、鳥取市内では鳥取赤十字病院（1915 年発足）が早期に開業した病院である。それぞれの病院の沿革については、ほぼ記録が残っており、ホームページ等からそれを知ることができる。しかし、各病院で行われていた看護の体制・実態については詳細にわかっていない事柄が多く存在する。著者らは知人等を辿り、過去に看護師として鳥取赤十字病院に勤務していた 2 名（80 歳代と 90 歳代）を見出すことができた。勤務当時の看護体制・実態、さらには看護師の教育体制について聞き取り調査を行う機会を得ることができ、日程を調整している。加えて、その 2 名の保管している資料（写真・印刷物等）の閲覧もしくは入手が可能となったことにより、それらの資料を基に、さらに過去に遡った調査を行うことのできる可能性が広がった。

2) 鳥取県中部

著者らは知人等を辿ることにより、倉吉市内で過去に個人医院を開業していた A 氏（故人）の子孫（B 氏）を見出すに至った。B 氏は A 氏の開業していた旧医院宅に現在も居住しており、当時の

貴重な資料・医療器具等がほとんど未整理のまま多く保存されている蔵を所有していることが判明した（図1、2）。保存資料等の調査を依頼し、日程・方法について調整を進めている。これにより、倉吉市における医学史・医療史研究の一助となることが期待される。



図1 蔵の正面像



図2 蔵の側面像

3) 鳥取県西部

①博愛病院

鳥取県西部には、鳥取大学附属病院をはじめ数多くの病院が集中している。中でも博愛病院は、1921（大正 10）年に米子市民が資金を拠出し合って開設された、当時では大変珍しい株式会社の病院であることが知られている。しかし、詳細な病院の創立経緯は不明であり、市民病院が民間病院となった経緯について調査を開始したが、博愛病院にもほとんど資料が残されていないことが判明した。著者らは知人を辿り、当該病院の元看護部長を探し当てるに至ったが、高齢のため聞き取り調査に困難を伴うとの理由から聞き取りの依頼を辞退された。現在、元職員の探索および米子市立図書館・米子商工会議所の資料探索を継続している。

②保健師・C氏

大山山麓にある香取開拓団の人々の健康管理および地域保健に尽力されたC氏（香川県出身・保健師）について調査を展開している。香取開拓団は、1946（昭和 21）年8月中国大陸より引揚げた第8次樺林開拓団（香川県栗熊村分村）を中心に香取で開拓村づくりを行った。この開拓団のリーダーの三好武男については研究もされているが、C氏についてはほとんど調査されていないため、本研究の調査対象としたものである。C氏の元同僚を探し当て、聞き取り調査を行った結果、香取開拓団の入植一世が1人（D氏）生存されていることが判明した。現在D氏に対する聞き取り調査について調整中である。

③元日本看護協会会長・E氏

元日本看護協会会長のE氏について調査を開始した。E氏は鳥取県日野郡江府町の出身であり、第33回フローレンス・ナイチンゲール記章を受賞しているが、詳細な事績は十分にまとめられていない。墓が境港市に建立されており、現在それを管理している姪を探し当てるに至った。E氏の事績についての聞き取り調査を行うべく、日程の調整を行っている。

④看護師・F氏

中央で活躍し、看護の発展に力を注いだ看護師F氏について調査を開始した。F氏は鳥取県日野郡日南町出身であり、1956（昭和 31）年より看護師として臨床看護、教育研究等に従事し、継続教育、中央ナースセンター事業の推進、国際活動、認定看護管理者制度の確立、次世代のリーダーの育成など、幅広く活躍されたが、それらの事績は十分にまとめられていない。墓が日南町に建立されていることを探し当て、さらなる調査を継続中である。

【総 括】

鳥取県東部・中部・西部の各区域において、看護学史・医学史・医療史の調査対象となる人物あるいは病院を絞り込むことができ、一定の知見を得ることができた。しかし、聞き取り調査対象が高齢であること、古い資料が散逸しているため入手に困難が伴うことなど、当該研究分野の特性上、調査・研究に時間がかかることは否めない。残された本研究期間中に、可能な限り多くの知見を得て整理したいと考える。